

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	心理基礎論2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	心理実習室
担 当 教 員	諸山碧葉 飯塚稔	実務経験と その関連資格	(飯塚)オンライン産業カウンセリング(株)STARGATE 元代表取締役・カウンセラー			
《授業科目における学習内容》						
カウンセリングの基礎的技法の習得、「認定心理カウンセラー」試験合格、を目指して、カウンセリングの基礎的技法及び知識、カウンセラーの倫理的態度について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70%、出席評価点20%、平常評価点(レポート、授業態度、ノート等)10%とし、優80点以上、良70点～79点、可60点～69点、不可59点以下と評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書「認定カウンセラー試験1・2級 公式テキスト」(株式会社STARGATE) 参考図書「プロカウンセラーの聞く技術(東山紘久著)」						
《授業外における学習方法》						
日常生活においても、じっくりと「話を聴く」という体験を積んでください。						
《履修に当たっての留意点》						
認定心理カウンセラー資格試験、全員合格を目指しましょう。 対人援助に就くために必要な基本的な価値観や態度、振る舞いを身につけてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングの基本的な態度3つを言うことができる。	教科書 PC プロジェクター	「カウンセラー」のイメージを持つておくこと	
		各コマにおける授業予定	「講義のオリエンテーション・カウンセリングとは」カウンセリングの定義、カウンセリングにおいて「聴く」とはどのようなことは、基本的な価値観と態度について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングの基本姿勢を説明することができ、過去問題を解くことができる。	教科書 PC プロジェクター	教科書の該当箇所を読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの基礎的技法①」カウンセリング中に生じる現象について概説、言語的な技法と非言語的な技法をロールプレイを通して学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングの流れを説明することができ、過去問題を解くことができる。	教科書 PC プロジェクター	教科書の該当箇所を読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの基礎的技法②」カウンセリングと行う際の実際の流れ、カウンセリングのはじめ方、情報収集の仕方と意義について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	技法とその内容を結びつけることができる。	教科書 PC プロジェクター	教科書の該当箇所を読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの基礎的技法③」非言語・言語的カウンセリング技法、その他実際の技法について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアントへの効果的な関わり方に関する名称と内容を結びつけることができる。	教科書 PC プロジェクター	教科書の該当箇所を読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの基礎的技法④」言語的カウンセリングのうち、積極的な関わりや効果的な介入方法を学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	それぞれの心理療法と、用語を結びつけることができる。	教科書 PC プロジェクター	授業内で行うワークの事前課題をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの理論①」来談者中心療法、精神分析、分析心理学についてそれぞれの成立背景、特徴などを学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種心理療法の特徴に関する過去問題を解くことができる。	教科書 PC プロジェクター	過去問題の模擬問題を行うので、前回までの心理療法の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの理論②」行動療法、認知療法、ブリーフサイコセラピー、認知療法、交流分析、ゲシュタルト療法について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	各種心理療法の特徴に関する過去問題を解くことができる。	教科書 PC プロジェクター	過去問題の模擬問題を行うので、前回までの心理療法の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	「カウンセリングの理論③」森多療法、内観療法、自律訓練法、家族療法、集団心理療法について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	合格基準の50%の点数を取ることができる。	模擬試験問題	模擬試験なので、前回までの内容に関する教科書や教材を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「模擬試験」ここまでの内容に関する模擬試験を実施する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	教示ができる。	教科書 PC プロジェクター	配布プリントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「実技対策①」実技試験対策として、ロールプレイを行う。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	教示とクロージングができる。	教科書 PC プロジェクター	配布プリントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「実技対策②」ロールプレイの実施。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	クライアントの語りに対して、応答できる。	教科書 PC プロジェクター	配布プリントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「実技対策③」ロールプレイの実施。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングの始めから、応答、クロージングまでスムーズにできる。	教科書 PC プロジェクター	配布プリントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「実技対策④」ロールプレイの実施。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	実技試験の合格ラインに到達する。	教科書 PC プロジェクター	配布プリントを熟読する。
		各コマにおける授業予定	「実技対策⑤」ロールプレイを実施し、採点とフィードバックを行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	合格基準に到達すること。	模擬試験問題	範囲が広がるので、これまでの学習を見直しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「模擬試験」認定心理カウンセラー試験と同程度の内容とレベルの模擬試験を行う。		